

〒959-1228 新潟県燕市佐渡 633
TEL:0256(64)5111

FAX:0256(63)9819

ホームページ <http://www.tsrh.jp>

Eメール tsubame@tsrh.jp

(燕労災病院院外広報誌)

発行日 2018年 3月号

発行者 鈴木 幸雄

燕労災病院の理念

◎働く人々と、地域の人々のために最善の医療を目指します。

病院の基本方針

◎安全で質の高い医療の提供を目指します。

◎勤労者の健康管理を支援します。

◎医療に関する教育・研修を支援します。

◎地域の人々の健康を守り福祉に寄与します。

目次:

* 県立燕労災病院のお知らせ	1
* がんリハビリテーションチーム活動1	2
* がんリハビリテーションチーム活動2 * 叙勲、瑞宝単光章授与	3
* 外来診療科別担当医師表	4

燕ろうさいつうしん

【 県立燕労災病院の平成 30 年4月開院に向けたお知らせ 】

県央基幹病院の円滑な整備に向けた準備の一環として、燕労災病院は、平成 30 年4月に(独)労働者健康安全機構より新潟県へ移譲されます。

県へ移譲後は、現在の燕労災病院の医療機能を引き継ぐことを基本として、地域医療水準の維持を図るとともに、県央基幹病院への円滑な移行に向けた体制づくりに努めます。

また、移譲後は、一般財団法人新潟県地域医療推進機構(魚沼基幹病院の運営主体)が病院を運営します。

※4月以降もこれまでと同じように受診いただけます。

- 病院名等 病院名／所在地／電話番号(燕労災病院／燕市佐渡 633／☎0256-64-5111)の変更はありません。
- 診療体制 現在の診療体制を基本的に継続し、看護師などの医療スタッフもほぼ変更ありません。
- 受診方法
 - ・お持ちの診察券をそのまま使用できます。
 - ・4月以降の診察などの予約も現在の病院で受け付けます。
 - ・現在受診中の人については、新たに初診料はかかりません。

(最終受診日から一定期間経過している場合は、初診料がかかる場合があります。)

<県央基幹病院 外観イメージ>



【 当院の目指す「がんリハビリテーション」チーム活動 】

外科・がんリハビリテーションチーム医師 沢津橋 孝拓

現在、日本では平均寿命の延長とともに、がんと診断される患者は増加の一途をたどります。2013年に新たにがんと診断された患者数は約86万人、2017年にがんで亡くなられた患者数は約37万人と報告されています。近年の医療技術の進歩でがんの早期発見率や、がん患者の生命予後は確実に向上してきました。それとともに、がんを克服もしくはがんを抱えていても治療でうまくコントロールしながら社会復帰を目指す、「がんサバイバー」と言われる方々が増加しているのも事実です。そのため我々医療者は、がん治療で生ずる身体的障害をはじめ、がんの進行に応じて発生する様々な問題に対して他職種が参加して対応する「がんリハビリテーションチーム」として、各々の患者に積極的に介入していく必要が出てきました。

通常、がんリハビリテーションのイメージというと、どうしても身体機能を回復するために辛いトレーニングをサポートするというようなイメージをもたれがちですが、実際はそうではありません。もちろん手術前後のリハビリテーションは重要です。しかし、むしろがん進行期・終末期の日常生活を患者がどう過不足なく、一人一人に合わせた生活を実現できるかということの方が我々に求められる要素は多くなっています。実際に当院でも、進行期・終末期がん患者に対するチーム介入依頼が大半を占めています。そして、一般的なリハビリテーションである脳梗塞後や怪我の後の「回復期リハビリテーション」と「がんリハビリテーション」の最大の違いは患者の持っている時間に制限があるかどうかです。「がん」という流動的かつ段階的に増悪する疾患に罹患された患者が、「自分の持っている時間」をどう有意義に費やすか。これを真剣に考えるには、まず患者は自己洞察することを強く求められます。しかし、患者はいずれ迎える「死」という誰も説明できない事象に深く混乱し、迷い、冷静な思考ができないことが多いと思われまます。その中で、チームの介入により様々な職種のメンバーが患者に関わり、患者が大切にしている価値観を尊重しつつ、今ある社会的資源を最大限に利用してどのように自己実現していくかを、チームがサポートしていく役割を担っています。

当院のがんリハビリテーションチームは医師、病棟看護師、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、薬剤師、退院調整看護師の他、化学療法、緩和、皮膚・排泄ケアのそれぞれの認定看護師が核となり活動を行っています。主な活動は、1回/週で開かれるカンファレンスで、適切な目標の設定や修正を行うことです。ここでは、患者の意思の尊重や身体状況の把握はもちろん、患者家族の想いや社会的背景も十分に考慮され、他職種間で多彩な意見が交わされています。また、必要に応じてチーム回診を行い、患者と目標を共有し、患者・家族からの意見を吸い上げられるよう努めています。更に、当院では在宅治療を担う部門がないため、退院後のチームケア実現のために県央地域の訪問看護ステーションの協力を仰ぎ、そこで各ステーションから訪問看護師がカンファレンスに参加し、退院後の自宅での様子や患者の心情の報告をもらえるようにしています。そして、必要時には「退院後の自宅訪問」を行い、退院後も患者が在宅で安定した生活をとれるようにと考えています。現在、チーム活動を開始し数年経過しましたが、院内にもチーム活動が周知され、現時点で全科の癌患者の中から主治医が必要に応じてチーム介入を指示して頂ける状況にあります。また、国の定める加算などの規定やメンバーの負担の問題から入院患者を対象に行っていますが、今後は徐々に退院後の外来ケアにも広げていくことを目標にしています。



我々、医療従事者が患者と出会うタイミングは、「病気」という非日常的な事象下に発生します。更に、「がん」という、患者の人生において決定的に深く影響を及ぼされる状態の中で、患者が出会う我々に求められるものは数多くあると思います。我々が良質な医療を届けるためには、的確な医療知識に基づく治療方針の提示や適切な医療技術の提供が必要不可欠です。しかし、それとともに目の前の患者を支えるために、医療者には確固たる信念と行動が求められます。医療の究極は、病気を介した「人」と「人」の交わりであり、身体に触れることはもちろん、目の前の患者の心に触れ合えるチームを目指して今後も試行錯誤しつつチーム活動を展開していこうと考えています。

【 叙勲、瑞宝単光章授与 】 看護部長 渋谷紀美子

このたび、平成 29 年秋の叙勲、瑞宝単光章をいただきました。労働者健康安全機構 燕労災病院最後の年に、看護部長としてこの栄誉に浴しましたことは、身に余るものと思っております。今までいろいろな方に支えられてきたことを感じ、また今回喜んでいただいたこと一つ一つが私の励みになっております。感謝の気持ちでいっぱいです。

叙勲の伝達式は昨年 11 月 8 日厚生労働省で行われ、勲章・賞状を授与していただきました。その後、皇居「春秋の間」にて拝謁の栄を賜わり、天皇陛下より直接のお言葉をいただき、感動の極みでございました。今もその光景は脳裏に焼きついています。また、「菊花御紋章」について知る機会になりました。萼のある十六葉八重菊が唯一無二のものであるとはじめて知りました。勲章の裏面には、勲功旌章(くんこうせいしょう)と篆書体(てんしょたい)で刻印されていましたが、全く読めず大分時間が過ぎてからの理解となりました。

「功績をあきらかにあらわすしるし」という意味であることも分り、改めて身の引き締まる思いになりました。私自身、功績はもちろんですが地域貢献はまだ不十分でこれからだと思っております。出会いを大切に、これから生涯をかけて何ができるか、出来る精一杯を、地域の方々、入院される患者さまやご家族の皆さま、そして職員のために努力しようと決意を新たにしています。

当院は平成 30 年 4 月、県立燕労災病院となります。その中で、微力ではありますが意味深い仕事を継続させていただき、役割を果たしていきたいと考えています。課題、難題は多くありますが、変化をチャンスと捉え、壁には必ず扉があると信じ、一歩踏み出して「辛い」を「幸せ」に繋ぐ努力をしまいにします。これからもあたたかいご支援やご指導を賜りますようお願い申し上げます。



燕労災病院 外来診療科別担当医師表

平成30年3月1日現在

診療科		月	火	水	木	金
内科	1診	諏訪 陽子(呼吸器)	丸山 佳重(呼吸器)	林 正周(呼吸器)	諏訪 陽子(呼吸器)	丸山 佳重(呼吸器)
	2診	岩崎 友洋(消化器)	小方 則夫(消化器)	森 ゆか理(消化器)	岩崎 友洋(消化器)	森 ゆか理(消化器)
	3診	樋口 涉(血液)	-	-	樋口 涉(血液)	-
	4診	-	伊藤 友美(腎・透析)	森岡 良夫(腎・透析)	-	森岡 良夫(腎・透析)
	5診	北澤 勝(内分泌)	北澤 勝(内分泌)	安山 浩信(血液・一般)	-	北澤 勝(内分泌)
	新患	小方 則夫	樋口 涉	丸山 佳重/諏訪 陽子	安山 浩信	有田 将史
	睡眠時無呼吸 外来	-	-	-	-	丸山 佳重(呼吸器) (13:30~)
神経内科	1診	眞島 卓弥	関根 有美	眞島 卓弥	樋口 陽 田中 恵子(不定期)	眞島 卓弥
	2診	樋口 陽	樋口 陽	関根 有美	関根 有美	笠原 壮
循環器内科	1診	宮北 靖	富田 幸治	宮北 靖	中村 彰	中村 彰
	2診	-	宮北 靖	中村 彰	富田 幸治	-
	新患	-	宮北 靖	中村 彰	富田 幸治	-
外科	1診	中塚 英樹	二瓶 幸栄	中塚 英樹	二瓶 幸栄	二瓶 幸栄
	2診	沢津橋 孝拓	中塚 英樹	沢津橋 孝拓	-	沢津橋 孝拓
	新患	中塚 英樹 沢津橋 孝拓	二瓶 幸栄 中塚 英樹	中塚 英樹 沢津橋 孝拓	二瓶 幸栄	二瓶 幸栄 沢津橋 孝拓
	ストーマ外来	-	-	-	-	第2・4週 (8:30~12:15予約のみ)
整形外科	1診	-	金井 朋毅	-	木島 靖文 (第1.3.4.5週)	-
脳神経外科	1診	小池 俊朗	小池 俊朗	阿部 英明	小池 俊朗 (第1.3.5週)	吉田 誠一
	新患	小池 俊朗	小池 俊朗	阿部 英明	小池 俊朗 (第1.3.5週)	吉田 誠一
皮膚科	-	-	酒井 あかり(午前)	-	出口 登希子(午前)	
泌尿器科	-	-	安藤 徹(第2.4週) (14:00~)	金井 利雄 (予約のみ)	-	
眼科	飯川 龍(午前)	末武 亜紀	中枝 智子(午前)	佐々木 亮(午前)	青木 朗子(午前)	
耳鼻咽喉科	大学医師 (13:30~)	-	-	-	大学医師 (午前)	
リハビリテーション科	-	真柄 彰	-	-	-	
放射線科	診断室	高野 徹	大学医師(午後)	高野 徹	大学医師(午後)	高野 徹
	リニアック	-	丸山 克也(午後)	-	笹本 龍太	塩井 美希(午後)
心臓血管外科	佐藤 征二郎 (14:00~)	-	-	-	-	
人間ドック	-	-	小方 則夫(第1・3・5週) (一般ドック)	小方 則夫 (一般ドック)	小池 俊朗 (脳ドック)	
リエゾン精神科 (院内からの紹介患者様のみ)	須貝 拓朗 (14:00~)	-	-	-	-	

【受診に際しては、以下にご注意ください】(受付時間 8:30~11:00)

- 内科：糖尿病・内分泌外来は、患者様の受診制限(お願い)をさせていただきます。
- 整形外科：予約患者様のみとなっております。
- 泌尿器科：水曜日(第2・4週、午後診察)の受付は、15:00までとさせていただきます。
- 眼科：10:30までの受付とさせていただきます。また、初めて受診される方は、他医療機関からの紹介患者様のみとさせていただきます。
- 耳鼻咽喉科：月曜日の受付は、15:30までとさせていただきます。
- 心臓血管外科：予約患者様のみとなっております。
- リエゾン精神科：院内からの紹介患者様のみとなっております。

◎担当医師変更等の場合もありますので、受診の際は、予めご確認ください。

電話番号(代表) 0256-64-5111